

新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育

令和2年6月25～26日に青森市で開催を予定していた第70回東北中学校長会研究協議会は、同年4月7日に発せられた「緊急事態宣言」を受け、青森大会を中止し、発表予定であった内容については冊子を作成し配付することを理事会にて決定した。

【令和2年度 東北地区中学校長会 宣言・決議】

宣 言

今日、我が国の教育は、人格の完成を目指し、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる社会を創るたくましい日本人を育成する使命を担っている。

私たちは、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、教育基本法、学習指導要領等の趣旨を踏まえ、新しい時代の変化や諸課題にも対応しつつ、確固たる信念と自負をもって全日中教育ビジョンに基づく学校からの教育改革を推進し、新たな中学校教育の創造に努めなければならない。

東北地区中学校長会は、中学校教育のさらなる充実を目指して、教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、東北各県民の負託に応えていくことを宣言し、以下の事項を決議する。

決 議

- 一、人間尊重の精神に徹し、「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」の育成に努める。
- 一、全日中新教育ビジョンを踏まえ、特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努める。
- 一、現在の教育課題に則した研修の充実を図り、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
- 一、多様な教育活動を推進するために教育諸条件の整備・充実に期する。
- 一、「教科書無償給与制度」「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を求め、教育水準の維持向上を期する。
- 一、学校における業務の精選・明確化等の働き方改革を力強くリードし、新しい時代に応じた魅力ある学校づくりに努める。
- 一、東日本大震災及び原子力発電所事故による被災地における教育活動の正常化や防災教育等のさらなる充実に努め、継続して東北6県校長が連携・協力する。

【研究報告】

| 分科会 | 分科会テーマ | 発 表 題 | 県 | 発表者 |
|-----|---|---|----|---|
| 第1 | 多様化した学校教育課題に対応できる教員の養成 | 多様化・複雑化した学校教育課題に対応できる教員の育成 ～中堅教員層に対する啓発研修の 実践を通して～ | 秋田 | 湯沢市雄勝郡小・中学校長会 東成瀬村立東成瀬中学校 大 沼 一 義 |
| | | 教員としての資質・能力を高める 人材育成の在り方 ～教員のニーズに即した 研修システムの構築を通して～ | 青森 | 西北地区中学校長会 五所川原市立金木中学校 長 内 勝 |
| 第2 | 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実 | 不登校やいじめ問題、 自殺等への対応の在り方 | 福島 | 福島県中学校長会相馬支会 南相馬市立石神中学校 佐 藤 恭 司 |
| | | 不登校問題とその対応 ～子供の心のケアハウスとの連携を通して～ | 宮城 | 大河原地区校長会 蔵王町立宮中学校 樋 口 浩 |
| 第3 | 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実 | 主体的に自らの進路を 切り拓こうとする生徒の育成 ～キャリア教育の原点に立ち返った 進路指導の充実を通して～ | 岩手 | 紫波地区中学校長会 紫波町立紫波第一中学校 佐 藤 嘉 宏 |
| | | 社会的・職業的自立に向けた キャリア教育の充実を柱にした学校経営 | 山形 | 東村山地区中学校長会 天童市立第二中学校 町 田 真 裕 |

【特別寄稿】

「常勝チームを作った最強のリーダー学」

青森山田高校サッカー部監督

青森山田中学校副校長

黒 田 剛

【取組報告】

- ① 福島県 「with コロナ時代の学校経営と校長のリーダーシップ ～チーム学校としてのリスクマネジメント～」
- ② 宮城県 「コロナ後の学校教育とリーダーシップの在り方について」
- ③ 仙台市 「本市における新型コロナウイルス感染症への対応と今後の課題」
- ④ 岩手県 「校長相互の横のつながりに支えられ先輩方からの大きな財産を生かして」
- ⑤ 山形県 「新型コロナウイルス感染症への対応」
- ⑥ 青森県 「新型コロナウイルス感染症への対応(県中学校長会調査結果から)」